

橋梁アセットマネジメントシステム

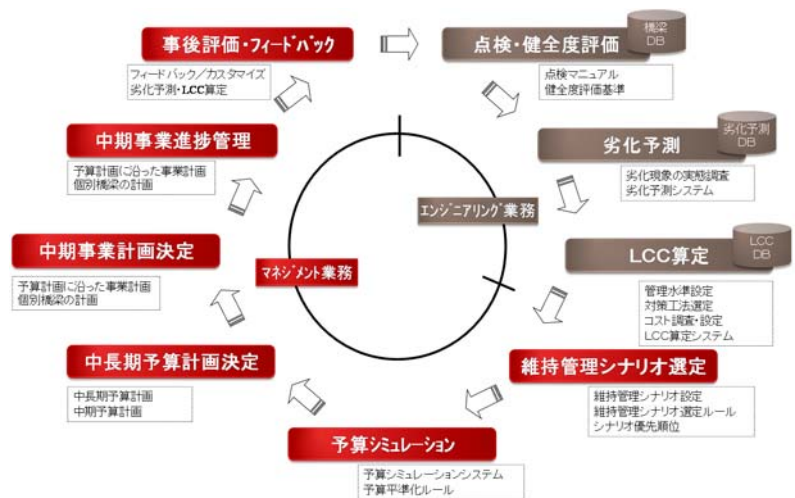
分類コード	A-00 その他の調査・診断 (工法(システム)・機器・材料)		
関連分類コード	-		
事例集リンク	(有(無))		
問合せ先	会社名	リテックエンジニアリング(株)	T E L 03-6229-6851
	部署	技術本部 第3グループ	F A X 03-6229-6853
	住所	〒107-0052 東京都港区赤坂 6-4-2 赤坂 MS ビル	
	E-mail・URL	E-mail: info@retec.co.jp	URL: http://www.retec.co.jp/
内容	対象構造物	道路橋全般 (コンクリート橋・鋼橋)	
	項目	橋梁アセットマネジメントシステム 塩害・中性化・凍害・アルカリ骨材反応・疲労・防食機能劣化・腐食	
	使用機器	パソコン (OS: Windows7)	
使用実績	道路橋全般 (コンクリート橋・鋼橋)		

【システムの特長】

特長 1: 点検・劣化予測・ライフサイクルコスト (以下、LCC) 算定から、予算シミュレーションを経て、中長期予算計画・中期事業計画・進捗管理・事後評価までの一連の PDCA サイクルを支援することが可能。

特長 2: 国土交通省橋梁定期点検要領 (H26) に準拠した要素分割を行い、さらに端部を別要素として扱い、各々健全度を評価する。このため LCC 算定精度が高く、補修範囲を特定することも可能。

■PDCA サイクル



■健全度評価

0101E	0101	0102	0103	0104	
0201E	0201	0202	0203	0204	
0301E	0301	0302	0303	0304	
0401E	0401	0402	0403	0404	
0501E	0501	0502	0503	0504	
0601E	0601	0602	0603	0604	

端支点部
主桁の要素分割(例)
中間支点部

特長 3: 劣化事例データ等に基づき、部材ごと・劣化機構ごとに劣化予測モデル式を設定。さらにこれを環境条件、個体条件を考慮して複数の劣化予測式として設定。

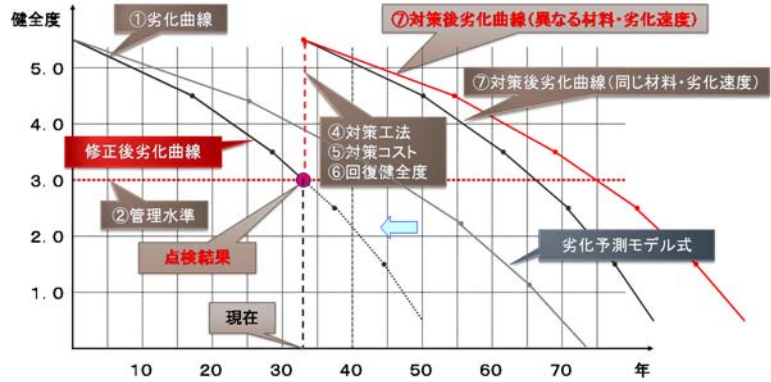
特長 4: 点検結果を反映させた劣化予測式の自動修正機能により、対策時期推定の精度が著しく向上。結果、LCC 精度が向上。

特長 5: 多様な維持管理シナリオにより LCC 最小化を目指した予算シミュレーションを実行。予算制約を考慮した、より現実に即した中長期予算計画の算定が可能。

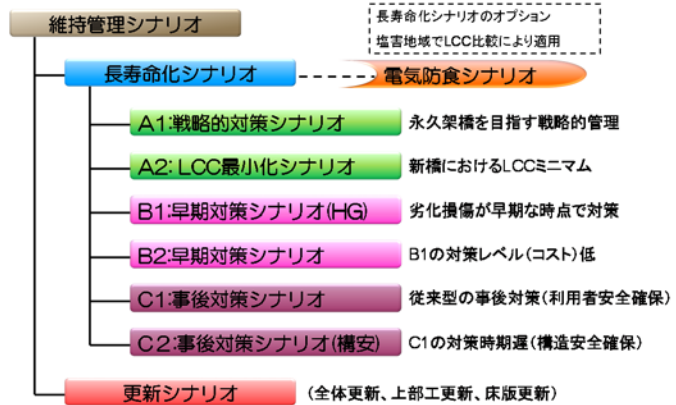
特長 6: 対策工事リストの自動作成機能により、橋梁別、部材別の対策実施年度を出力。中期事業計画（長寿命化修繕計画）の策定を支援。

特長 7: 要素単位で健全度や対策履歴を管理可能。劣化予測式に結果を反映することで、LCC 算定の精度向上を図ることが可能。

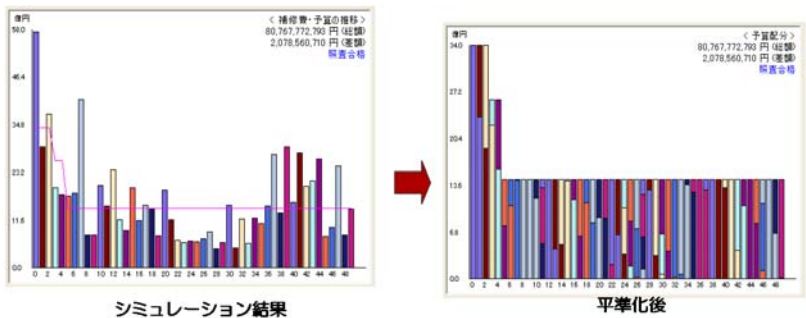
■点検結果を反映した劣化予測と LCC 算定



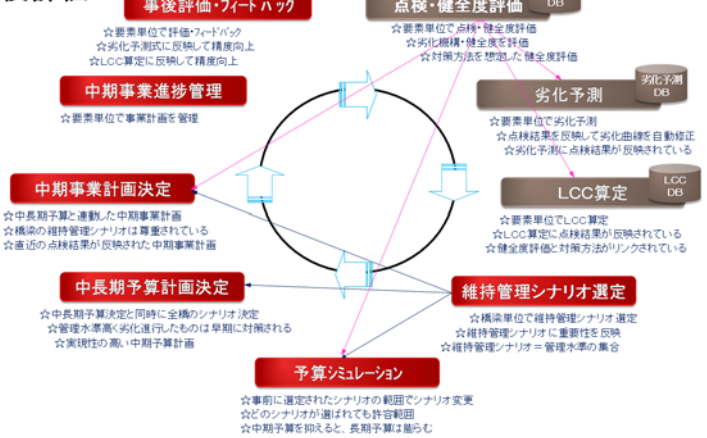
■多様な管理シナリオ



■予算の平準化



■事後評価



参考文献(発表論文) -

特許取得 ・有 ・無

・出願中

資料作成日

2015年5月